

ピンク玉

昔、こんな実験をした人がいます。

まず最初に、人の悪口を言った空気をビニル袋いっぱい集めます。

次にその空気を空気圧縮機でどんどん圧縮していきます。

そうすると、その空気はこんなピンク色したきれいな小さな小さな粒になります。

これを、えさに混ぜてハムスターに与えます。

するとハムスターはどうなったでしょうか？

なんと、ハムスターは死んでしまったそうです。どうしてでしょうか？

そうです、その小さなピンクの粒には毒がいっぱい詰まっていたのです。

人の悪口を言ったその空気には毒がいっぱい詰まっていたのです。

古来、日本では言葉（祈り）で病気を治したり、逆に病気にさせたり、時には雨を降らせたりする人がいたそうです。祈祷師と呼ばれる人たちです。校長先生も詳しいことはわかりませんが、それほど人が発する言葉には力があるということでしょう。先ほどのハムスターの実験からもそれはわかります。

なので、先生たちが友達の良い口や傷つくことを言うのを止めましょう！

とみんなによくいう意味が分かりますよね。悪口は本当に友達の良い心や体を傷つける怖い兵器なのです。わかった人は今日から一切悪口は止めましょう！

逆に人をほめる言葉を増やしてくれれば嬉しいです。